

# 援助力養成プログラム 活動実績に応じたマイスター制度 (学長表彰制度)があります。

不登校・ひきこもりサポートセンター  
地域教育支援機構土曜の風プロジェクト

## 君の笑顔が子どもたちの未来を変える

援助力養成プログラムは、県大が誇るわが国唯一の教育プログラムです。子どもへの関わり方の基礎を授業で学び、その後、不登校・ひきこもりサポートセンターや学習支援を専門におこなう土曜の風プロジェクトなどで実際に子どもの支援活動に参加します。それにより、子どもたちの未来を変えようとするとともに、学生自身も高い援助力や対人スキルを持った専門職者へと成長することができます。

子どもとともに  
まったく変わった  
私の将来

- ① 県大子どもサポーターの約7割が対人援助職として活躍！
- ② 近年、養護教諭サブコースの教員就職率は100%を維持！
- ③ 公務員(法務教官、児童福祉司、保健師など)としても活躍！
- ④ スクール(学校)ソーシャルワーカーや臨床心理士としても活躍！

## ボランティアリーダーによる学年や経験に応じた活動内容のステップアップ

将来の私



### 1 年次

### 2 年次

### 3 年次

### 4 年次

#### 不登校・ひきこもり援助論

不登校の子どもの援助方法とともに、課題を抱えた子ども(非行・虐待・障害など)への関わり方、子どもについてなどを学びます。受講後に「県大子どもサポーター」に登録し、様々な子ども支援活動に参加します。



授業の様子

#### 子供学習支援論

この授業では、全国的な課題となっている子どもの学力低下の要因を様々な観点から考え、具体的な学習支援の方法について学びます。同時に、子どもの命を救うための一次救命処置も身につけます。受講後に土曜の風プロジェクトの学習支援活動に参加できます。



授業の様子

#### サポーター活動 Activity of Support

県大子どもサポーターは、不登校やひきこもりなどの問題を抱える子どもたちを多様な場で支援する専門ボランティアです。

サポーター登録後はまず、初期の活動としてイベント(泥んこドッジボールやキャンプなど)に参加したり、地域の学校や教育委員会などからの要請で学校等において継続的に子どもを支援する活動などに参加します。

これらの活動から、子どもを支援する際の基本的な関わり方や**集団での役割を遂行する力、継続的な支援を行うためのマネジメント能力**を身につけます。



オンラインボランティア(学校)



イベント時の様子



学生企画キャンプ



サポーター表彰式

#### キャンパス スクール Campus School



休み時間の様子



スクールでの活動の様子

キャンパススクールは、全国で唯一の大学内フリースクールです。子どもたちへの学習支援や心理的サポートとともに、社会性の伸長を図ることを目的としています。

スクールの時間割は、大学の時間割をリンクさせているので、サポーターはちょっとした空き時間を使ってスクールに来ることができます。

身近なお兄さん、お姉さんとしての存在を活用して、子どもたちの**集団適応能力を高めるための援助方法**を身につけます。

#### キャンパスキッズ Campus Kids

キャンパスキッズとは、不登校の子どもたちがセンターに来て、サポーターと一緒に活動するプログラムです。

自信をなくしていることが多い不登校の子どもにとって、特定の人が自分を待っていてくれるということは、次の一歩を踏み出すための大きな力となります。

このようなサポーター活動を通して信頼関係を形成し、**一人ひとりの子どもに寄り添う個別援助力**を身につけます。



個別支援



軽スポーツ

#### 土曜の風 プロジェクト 学習支援活動 Saturday - Wind Project



土曜の風プロジェクトによる小・中学生への学習支援

土曜の風プロジェクトは、学生自身がまさに「風」となり、子どもたちの学力向上のために周辺地域の中に吹き込んでいく様子をイメージしています。

周辺地域の子どもたちの学力向上は喫緊の課題です。この支援に当たるには、「子供学習支援論」などで身につけた知識や技術とともに、責任が生じます。そのため、土曜の風プロジェクトの活動は有償の活動です。活動に入った後も、専従スタッフが学生の活動をサポートし、**学習支援を通じた高い援助力**を身につけます。

#### 看護学科 The voice of supporters ①



碓山 真央さん  
看護学部 看護学科 4年  
戸畑高校出身(福岡県)

私はボランティア活動として、主に大学内にあるフリースクールや、児童生徒が参加するイベントに参加してきました。フリースクールでの活動は講義で学んだことを実践することができる場です。学習支援、休み時間の会話での関わりを通して、子どもたちの笑顔と成長する姿にとってもやりがいを感じています。講義だけでは学べない子どもたちの実態や感情の変化を感じることができること。それが県大のフリースクールの魅力だと思います。

#### 公共社会学科 The voice of supporters ②



向原 夏輝さん  
人間社会学部 公共社会学科 4年  
鹿児島南高校出身(鹿児島県)

友人がフリースクールでの活動について楽しそうに話している様子を見て活動に興味を持ち、大学2年生の時に県大子どもサポーターとしての活動を始めました。私はフリースクールでの活動と同時に、高校での学習支援にも力を入れて取り組みました。生徒のペースに合わせて根気強く支援をするなかで、生徒の集中力が成長していく様子が見られ、やりがいを感じました。活動により、講義では身につけづらい実行力が鍛えられました。

#### 社会福祉学科 The voice of supporters ③



前田 友美さん  
人間社会学部 社会福祉学科 4年  
上五島高校出身(長崎県)

私は日々のボランティア活動を通してたくさんの子どもたちと関わっています。活動は学習支援からキャンプ、個別活動まで様々です。県立大では多くのボランティアに出会うことができ、自分のペースで活動ができます。活動の中で、子どもとたくさん話をし、笑顔に出会ってきました。子どもが実際に生活する場面に関わることで、大学生活では知れない視点を学ぶことができます。子どもたちの成長が、私自身のやりがいとなっています。また、子どもの笑顔にたくさんの元気をもらっています。

#### 人間形成学科 The voice of supporters ④



森山 誠吾さん  
人間社会学部 人間形成学科 4年  
嘉穂東高校出身(福岡県)

私は個別での活動や、学校に訪問して生徒と関わる活動をしています。子どもたちと関わる中で、初めはどんな対応をすればいいのか、悩んだり戸惑ったりすることもありました。そんなときはボランティア担当の職員の方々に相談をすることで、次の活動に向けてのアドバイスを頂くことができ、活動をより充実させることができるようになりました。活動を通じた学びや気づきも多く、大学生活を通して貴重な時間となりました。